

手話言語の国際デー・手話の日の取り組みとして、 セントラルアーチのブルーライトアップおよび市役所でのパネル展を実施します

千葉市では、「千葉市手話言語の普及及び障害者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例」を制定し、手話が言語であることの理解、普及等のためさまざまな取り組みを行っています。

このたび、手話言語の国際デー・手話の日である9月23日にちなんで、千葉都市モノレールセントラルアーチのブルーライトアップおよび市役所で東京2025デフリンピックに係るパネル展を実施しますので、お知らせします。

1 セントラルアーチのブルーライトアップ

(1) 日時

令和7年9月23日（火・祝）

17:00～22:00

(2) 場所

千葉都市モノレール セントラルアーチ
(中央区中央1-12地先 千葉駅前大通り)

(3) 点灯色

世界平和を表す青色（ブルー）にライトアップします。



セントラルアーチのブルーライトアップ

2 東京2025デフリンピックパネル展

令和7年11月15日（土）から26日（水）にかけて行われる東京2025デフリンピックを紹介するパネル展を行います。

(1) 日時

令和7年9月22日（月）～29日（月）

9:00～17:00

(2) 場所

市役所1階 市民ヴォイド（情報ステーション）

(3) 展示内容

- ・東京2025デフリンピックパネル展示
- ・東京2025デフリンピックPR動画放映



（左）ISCD（国際ろう者スポーツ委員会）ロゴ

（右）東京2025デフリンピック大会エンブレム

※ISCDロゴに関する一切の知的財産権は、国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）が保有し、日本では全日本ろうあ連盟が管理しています。

<参考>

1 手話言語の国際デー

2017年に国連総会で決議された、「手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国すべてにおいて手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進する」日とされ、世界各国および国内で、手話が言語であるという認識を広める目的で各地を青色に照らす取り組みが行われています。

2 手話の日

2025年に施行した「手話に関する施策の推進に関する法律」において、手話言語の国際デーである9月23日が、手話の日として定めされました。

3 デフリンピック

4年に1度開催される、きこえない・きこえにくいアスリートのための国際スポーツ大会です。100周年の節目となる東京2025デフリンピックは、令和7年11月15日（土）から26日（水）にかけて、東京都・福島県・静岡県の各会場で開催されます。